

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	市道路面下空洞修繕事業／道路ストック修繕事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	4 市民が安全に生活できる交通環境の整備					
施策の内容	1 交通安全施設の整備充実					
H28決算額	4,201千円	財源内訳	国県支出金 2,310千円	地方債	その他	一般財源 1,891千円

【事業の概要】

◎市道路面下空洞修繕事業

市道のうち、緊急輸送路等について、路面下空洞調査を実施した結果、陥没の危険性が高いと判断された箇所について、空洞二次調査を実施しました。

◎道路ストック修繕事業

道路施設の予防型修繕を目的として、路面性状調査、擁壁・法面、照明施設等の点検調査を実施し、その結果に基づき各施設の修繕工事を実施します。

[平成28年度分]

財源内容 国県支出金 2,310千円 一般財源 1,891千円
(単位：千円)

区分	事業費	概要
路面下空洞調査	4,201	二次調査22箇所(緊急性のある修繕箇所無)
合計	4,201	



路面下空洞二次調査 (市道 I 級11号線)

[平成29年度への繰越分]

財源内容 国県支出金 8,542千円 地方債 6,200千円 一般財源 789千円
(単位：千円)



路面下空洞二次調査 (市道 I 級18号線)

区分	事業費	概要
擁壁補修工事	15,531	市道 I 級15号線
合計	15,531	



擁壁補修工事 (市道 I 級15号線)

【事業の成果】

道路施設の適切な点検調査による現状把握と、その結果に基づいた的確な修繕を実施することにより、安全かつ円滑な交通の確保に寄与します。

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

事業名	道路新設改良事業
-----	----------

施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり
-------	---

施策名	2 高質な都市基盤の整備
-----	--------------

施策の内容	3 生活道路の整備
-------	-----------

H28決算額	623,002千円	財源内訳	国県支出金 39,481千円	地方債 501,500千円	その他	一般財源 82,021千円
--------	-----------	------	-------------------	------------------	-----	------------------

【事業の概要】

日常生活の利便性向上及び地域環境改善のため、次の工事を実施しました。

- ・幹線道路，その他の市道の拡幅改良及び舗装工事
- ・歩行者及び自転車通行の安全確保のための交通安全施設工事

◎ 路線整備

① 市道Ⅰ級5号線	L = 231 m	W = 5.0 m
② 市道Ⅰ級38号線	L = 313 m	W = 4.6～7.0 m
③ 市道Ⅱ級9号線	L = 110 m	W = 8.0 m
④ 市道中高津二丁目2号線	L = 285 m	W = 7.0～8.0 m
外 26件	L = 2,985 m	W = 4.0～12.0 m

[平成27年度からの繰越分]

財源内訳 国県支出金 23,605千円 地方債 254,400千円 一般財源 39,003千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	50,777	14件 延長 4,363 m
工事請負費	247,095	19件 延長 2,941 m
用地取得費	7,877	6路線 面積 638 m ²
物件移転補償費	11,259	立木・工作物移設費等
合 計	317,008	

[平成28年度分]

財源内訳 国県支出金 15,876千円 地方債 247,100千円 一般財源 43,018千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	40,316	24件 延長 2,958 m
工事請負費	206,220	11件 延長 983 m
用地取得費	22,328	26路線 面積 3,408 m ²
物件移転補償費	27,383	立木，工作物，電柱移設費等
役務費	8,245	鑑定料，登記料
事務費等	1,502	
合 計	305,994	

[平成29年度への繰越分]

財源内訳 国県支出金 11,384千円 地方債 204,000千円 一般財源 45,108千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
測量設計委託	31,374	8件 延長 3,230 m
工事請負費	215,813	19件 延長 2,690 m
交通通安全施設工事	4,428	1件 区画線等
用地取得費	2,771	6路線 面積 400 m ²
物件移転補償費	6,106	立木，工作物移設費等
合 計	260,492	



① 市道Ⅰ級5号線



② 市道Ⅰ級38号線



③ 市道Ⅱ級9号線



④ 市道中高津二丁目2号線

【事業の成果】

幹線道路（Ⅰ級幹線、Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事、歩道整備や生活道路・狭隘な市道の拡幅改良工事、舗装工事及び交通安全施設工事を計画的に進めることにより、日常生活の利便性向上と地域環境の改善、さらには歩行者及び自転車通行の安全確保に寄与しました。

款	土木費	項	道路橋梁費			
事業名	橋梁耐震対策事業／橋梁長寿命化修繕事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり					
施策の内容	8 橋梁震災対策の推進					
H28決算額	48,652千円	財源内訳	国県支出金 24,679千円	地方債 21,700千円	その他	一般財源 2,273千円

【事業の概要】

◎橋梁耐震対策事業

橋梁の耐震性を向上させ、地震災害時における避難路及び緊急輸送路の確保を図るため、橋梁の耐震補強工事実施設計委託を1橋実施しました。

◎橋梁長寿命化修繕事業

老朽化が進んだ橋梁を計画的に修繕し、利用者の安心・安全を図るため、長寿命化修繕工事を3橋、設計委託を1橋、耐震補強実施設計委託を1橋実施しました。

[平成27年度からの繰越分]

財源内容 国県支出金 22,303千円 地方債 16,300千円 一般財源 1,949千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
長寿命化修繕工事	23,700	真鍋1号橋（浅間台高架橋）
	15,750	常磐線6号橋（神立跨線橋）
	1,102	備前川22号橋（小松橋）
合 計	40,552	

[平成28年度分]

財源内容 国県支出金 2,376千円 地方債 5,400千円 一般財源 324千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
橋梁長寿命化修繕詳細設計委託	4,320	国道六号5号橋
耐震補強工事実施設計委託	3,780	国道六号6号橋
合 計	8,100	

[平成29年度への繰越分]

財源内容 国県支出金 53,101千円 地方債 65,100千円 一般財源 2,846千円
(単位：千円)

区 分	事業費	概 要
長寿命化修繕工事	52,402	常磐線5号橋（真鍋跨線橋）
	13,489	国道六号4号橋
耐震補強及び長寿命化修繕工事	55,156	国道六号5号橋
合 計	121,047	



国道六号5号橋



国道六号6号橋

【事業の成果】

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、橋梁の長寿命化を図るとともに、予算の平準化と維持管理費用の削減を行い、道路交通の安全性と信頼を、将来にわたり確保することができます。

款	土木費	項	河川費			
事業名	都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	5 浸水被害に強いまちづくり					
施策の内容	1 都市下水路の整備					
H28決算額	76,506千円	財源内訳	国県支出金 37,264千円	地方債 29,200千円	その他	一般財源 10,042千円

【事業の概要】

豪雨による道路冠水等を解消するため、雨水を速やかに排除する下水道施設の整備工事等を実施しました。なお、都市下水路整備事業については、国から交付される「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用しています。

◎都市下水路整備事業

- ・西根竹の入都市下水路施設整備工事 U2, 200mm×1, 900mm L=50.0m
特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用

◎小規模排水路整備事業

- ・虫掛地内小規模排水路整備工事 L=328.0m
- ・田中二丁目地内小規模排水路整備工事 L=230.0m

[平成27年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
小規模排水路整備費	20,941	工事3件

[平成28年度分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
都市下水路整備費	43,578	工事3件
小規模排水路整備費	11,987	工事2件
合計	55,565	



西根竹の入都市下水路 施工後



虫掛地内小規模排水路 施工後

【事業の成果】

都市下水路施設及び小規模排水路施設の整備を行い、大雨による浸水被害の減少を図りました。今後も計画的に雨水を速やかに排除する下水道施設の整備等を行うことにより、市民の生活環境の向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	協働のまちづくりファンド（ハード）事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	3 景観の向上					
施策の内容	2 歴史的景観の整備					
H28決算額	1,333千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
					1,229千円	104千円

【事業の概要】

◎助成対象事業

(1) 市民提案事業

市民団体の提案する公共性や公益性の高い事業を「協働のまちづくりファンド運営委員会」で選定し助成を行います。

上限5,000千円 補助率4/5 以内

(2) 景観形成事業

「旧城下町とその周辺地区」及び「JR土浦駅周辺地区」の表通りにおいて、歴史的建造物等の保存や修景補助を行います。

・歴史的建造物（景観重要建造物、指定文化財、登録文化財）の復旧、修理等

上限5,000千円 補助率2/3 以内

・中城通り地区の建築物における修景整備

上限3,000千円 補助率2/3 以内

・上記以外の建築物における修景整備

上限1,500千円 補助率1/2 以内

・門、塀等の外構

上限1,000千円 補助率1/2 以内

・屋外広告物の修景

上限300千円 補助率2/3 以内

・自動販売機、空調設備、電気設備等の修景

上限300千円 補助率2/3 以内



景観形成事業 外構修景工事



景観形成事業 電気設備設置工事

平成28年度の基金活用状況（負担金補助及び交付金）

（単位：件、千円）

区分	件数	補助金額
景観形成事業	2	1,229

その他の歳出内訳

（単位：千円）

区分	事業費
報償費（運営委員会）	35
需用費	1
積立金	68
合計	104

【事業の成果】

本年度は、景観形成事業2件に対して補助を行いました。駅前通りの中でも、歴史的な街並みが残る旧城下町地区に近い場所で、店舗の意匠にあわせた天然素材を利用した外構・電気設備が設置されることにより、歴史的景観の向上が図られました。

款	総務費	項	総務管理費			
事業名	協働のまちづくりファンド（ソフト）事業					
施策の大綱	1-2 市民と行政が一体となった協働のまちづくり					
施策名	1 市民協働のまちづくりの推進					
施策の内容	1 コミュニティ活動の支援					
H28決算額	1,260千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
					1,260千円	

【事業の概要】

協働のまちづくりの推進に向けて、市民活動団体が地域の活性化や地域課題の解決を図るため、市内で新たに行う事業の経費を助成し、団体の自主的な活動を支援しました。

◎協働のまちづくりファンド（ソフト）事業

同一活動に対して、最大2年補助が出来ます。

- ・1年目 上限300千円 補助率3/4 2年目 上限200千円 補助率1/2

(単位：千円)

団体	補助事業名	補助金額	内 容 等
NPO法人エコレン	市民のエコ活動推進事業（2年目）	200	市民を対象に、自分の目で見て触れて行う環境教育（廃ガラスアート等）を各地区の公民館祭で実施。総数939人の参加者があり、多くの方に環境保全の必要性、実践する事の大事さを訴えることが出来ました。
NPO法人ネイチャークラブにいはり	ふるさと再発見プロモーション事業（2年目）	69	山ノ荘地域にある特徴的な地形や地質・石仏・寺院・神社を訪れ、地域資源に気づき郷土愛を醸成し、故郷自慢を土浦市内外へ発信することを目的に、4回のジオツアーを実施。82人が参加し、好評でした。
土浦市観光ボランティアガイド協会	「土浦花火競技大会」に連携する城下町ガイド及び史跡探訪ウォーキング（1年目）	211	花火競技大会に連携する自主事業として城下町ガイドを実施し、大会当日及び翌日の2日間で249人を案内、観光者数の増加を図りました。また、霞ヶ浦周辺と新治地区の史跡探訪ウォーキングも実施しました。
土浦ユネスコ協会	「平和のとりでを築こう」親子教室（1年目）	195	市内の親子向けに、平和の書パフォーマンス、戦争体験談の講話、平和祈念コンサート、戦時中の食事体験のイベントを実施し100人が参加。過去の戦争について学び、平和の大切さを認識する心を養いました。
右叻商工振興会	親子でキャンプinラクスマリーナ（1年目）	285	親子での自然体験・キャンプの事業としてラクスマリーナ及び霞ヶ浦周辺で実施。24人が参加し、ジオパーク講習会やカヌー体験等を通じて地元愛を育みました。
荒川沖DO!! SPE会	荒川沖DO!! すっぺまつり「地元食材で集う食の祭典」（1年目）	300	地域住民の参加型イベントとして実施。土浦市で生産された地元の食材による料理のA1グランプリなどを行い、約3,500人の参加があり、地域の交流、荒川沖のPR、地産地消の啓発に寄与しました。



NPO法人ネイチャークラブにいはり



土浦市観光ボランティアガイド協会



土浦ユネスコ協会

【事業の成果】

各団体が、補助金を活用して新たな活動を実施し、環境保全活動の啓発、地域資源の再発見、にぎわいの創出など、市民活動団体ならではの取組によりコミュニティの活性化や地域課題の解決などに寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	かわまちづくり事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	3 うるおいのある河川・公園の整備					
施策の内容	6 良好な水辺空間の整備					
H28決算額	17,484千円	財源内訳	国県支出金 8,413千円	地方債 7,500千円	その他	一般財源 1,571千円

【事業の概要】

平成25年度に国土交通省のかわまちづくり支援制度に登録された「土浦市かわまちづくり計画」を推進するため、遊歩道整備や川の標識設置、交通量調査を実施しました。

[平成28年度分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
遊歩道整備工事	16,826	桜川左岸の銭亀橋～土浦橋間253mを整備しました。
川の標識設置	629	水郷橋，桜川橋，匂橋，銭亀橋，土浦橋，学園大橋に標識を設置しました。
交通量調査委託	29	千束町，生田町地内の交通量調査を実施しました。
合計	17,484	

[平成29年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
距離標設置工事	3,780	土浦港から学園大橋までの約5.5kmの区間において、遊歩道路面上100m毎に距離標を設置します。
合計	3,780	



整備した遊歩道（桜川左岸，銭亀橋～土浦橋）



設置した川の標識（桜川橋）

【事業の成果】

遊歩道整備や川の標識設置等の実施により、中心市街地に近接する桜川や霞ヶ浦の水辺におけるまちと水辺が融合した良好な空間形成の実現に向けた進捗が図られました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	亀城モール整備事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H28決算額	50,217千円	財源内訳	国県支出金 8,271千円	地方債 35,400千円	その他	一般財源 6,546千円

【事業の概要】

中心市街地の中心地に位置する川口一丁目交差点から中央一丁目交差点北側において、亀城モール整備を行い、歩行者や自転車の安全性を高めるとともに快適な都市空間を形成します。また当該計画箇所は、土浦駅前やモール505から亀城公園までに至る中間に位置することから、市民及び来訪者の憩いの空間づくりを行います。

平成28年度は、事業実施にあたり、用地買収及び移転補償を行いました。

- ・整備年度：平成26～29年度
- ・事業面積：約2,900㎡

[平成27年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
用地取得費	11,771	1筆(149㎡), 契約完了払1件
補償金	16,242	1棟, 契約完了払1件
合計	28,013	

[平成28年度分] (単位：千円)

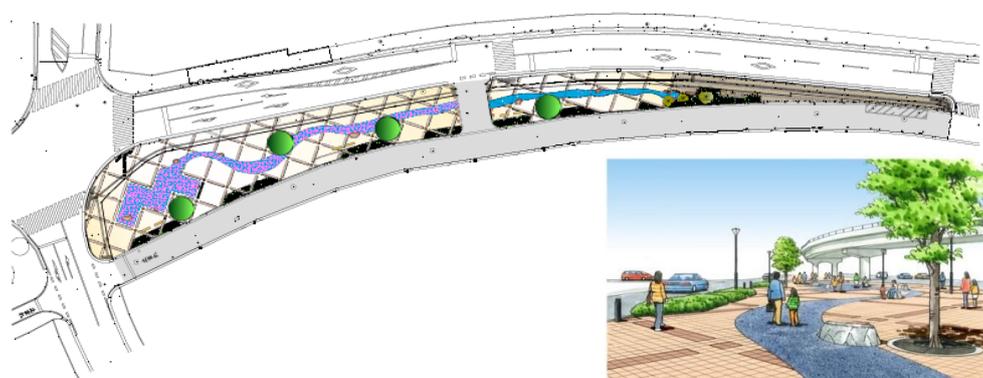
区分	事業費	概要
需用費	33	収入印紙代等
役務費	1,813	鑑定料等
工事請負費	713	侵入防止柵
用地取得費	3,158	1筆(54㎡)
補償金	16,487	1棟
合計	22,204	

[平成29年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
用地取得費	23,900	土地代金
補償金	386,000	建物補償等
合計	409,900	



計画位置図



【事業の成果】

平成28年度は、建物等2件の補償と用地2筆を取得し、用地取得率77%となり、整備に向けた進捗が図られました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	立地適正化計画策定事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	1 市民参加による適正な土地利用の誘導					
施策の内容	2 コンパクトなまちづくりの推進					
H28決算額	9,450千円	財源内訳	国県支出金 4,722千円	地方債	その他	一般財源 4,728千円

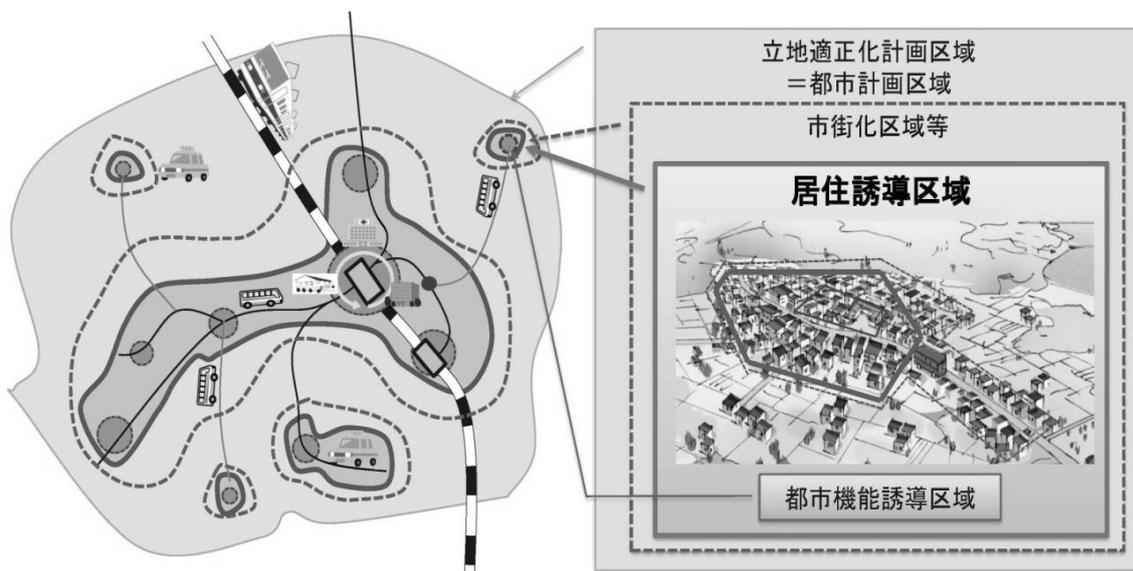
【事業の概要】

立地適正化計画は、住宅及び医療、福祉、商業その他の居住に関連する施設の立地の適正化を図るため、一定の区域への誘導を行い、コンパクトなまちづくりを推進するものです。

本市においては、平成27年度及び28年度の2年間で、当該計画の策定を進め、平成29年3月31日に計画を策定・公表しました。

(単位：千円)

区分	事業費	概要
立地適正化計画策定業務委託	9,450	平成27年度の検討・調査結果を踏まえた素案の作成（誘導区域・誘導施策・目標値等の設定）及び住民説明会・パブリックコメントの実施等。
合計	9,450	



立地適正化計画のイメージ

【事業の成果】

医療・福祉・商業等の生活サービス機能と居住を誘導・集約するとともに、まちづくりと連携した公共交通ネットワークの再構築を目指す「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方にに基づき、人口減少や超高齢社会の到来等に対応した持続可能な都市経営に向けた取組の推進に寄与しました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	土浦駅西口広場整備事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施策の内容	1 土浦駅前北地区の整備					
H28決算額	423,029千円	財源内訳	国県支出金 60,057千円	地方債 326,500千円	その他	一般財源 36,472千円

【事業の概要】

土浦駅西口広場の交通状況については、歩行者、バス、タクシー、一般車の通過交通等がふくそうし危険であることや、市庁舎の移転や図書館を核とした土浦駅前北地区市街地再開発事業により、広場周辺の更なる交通量の増加が見込まれていることからその交通混雑の解消と利用者の安全性の向上を図ります。

- ・事業期間 平成25年度～平成29年度
- ・広場面積 A=9,800㎡

[平成27年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	355,729	改修工事(バスターミナル・暫定交差点)

[平成28年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	67,300	改修工事(タクシープール・一般車乗降場)

[平成29年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	191,880	改修工事(タクシープール・一般車乗降場) エレベーター設置工事
委託料	1,620	エレベーター設置工事監理委託
計	193,500	



バスターミナル 着工前



バスターミナル 完成後

【事業の成果】

「バスターミナル」と「タクシー・一般車施設」を区分し、交錯する動線を解消することや広場内における歩行者の車道横断を極力少なくすることにより、安全性の向上が見込まれます。

また、ウララ前の一方通行やりそな銀行前の食い違い交差点を解消することにより、西口広場に進入していた通過交通の排除及び交通の円滑化を図ります。

さらに、シェルターやサイン等を併せて設置することで、利用者の利便性を向上し、公共交通機関の利用促進を図ります。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	神立駅西口地区土地区画整理事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	2 地域の特性を活かした市街地の整備					
施策の内容	2 神立駅周辺地区の整備					
H28決算額	503,000千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				212,200千円		290,800千円

【事業の概要】

神立駅西口地区において、西口駅前広場及びアクセス道路の神立停車場線等の都市施設整備を土地区画整理事業により一体的に推進し、駅前にふさわしい市街地の形成を図ります。

- ・地区面積 2.2ha（土浦市 1.3ha、かすみがうら市 0.9ha）
- ・施行期間 平成24年～平成33年度
- ・都市施設概要 都市計画道路神立停車場線W=22m, L=23m
（西口駅前広場 約4,800㎡を含む。）
都市計画道路神立駅前西通り線W=15m, L=210m
- ・総事業費 55.5億円（関連事業費を除く。）

[関連事業]

- ・駅舎橋上化整備事業 A=950㎡
- ・自由通路整備事業 W=6m, L=40m
- ・東口歩行者専用道路整備事業 L=490m A=6,660㎡

[平成28年度負担金内訳]

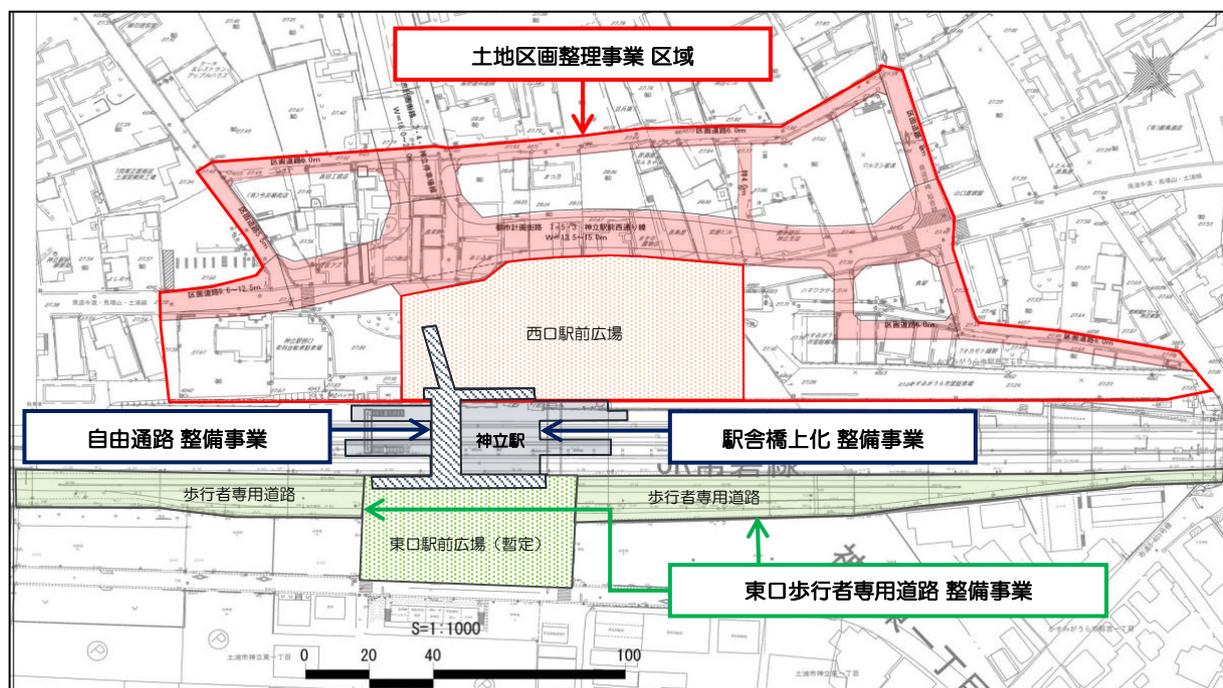
(単位：千円)

区分	事業費	概要
事業費分	93,218	建物等移転補償費、駅舎・自由通路整備工事負担金等
事務費分	2,566	現場事務所諸経費
人件費分	26,365	派遣職員人件費 3名分
合計	122,149	

[平成29年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
事業費分	75,784	建物等移転補償
決算剰余金	305,067	市への返還金357,706 (305,067+H27繰越分52,639)
合計	380,851	



駅舎（全体）イメージ



左：駅舎（西口）イメージ
下：自由通路イメージ

【今後のスケジュール】

- ・平成29年度
建物等移転（継続），駅舎・自由通路本体工事
（平成30年6月一部供用開始，平成31年3月完成予定）
公共施設整備工事，ライフライン整備工事，東口暫
定駅前広場実施設計
- ・平成30年度～
公共施設整備工事，ライフライン整備工事，
東口歩行者専用道路整備工事



【事業の成果】

駅舎橋上化及び自由通路整備工事について，10月に仮駅舎への利用切替を行い，平成31年3月の完成を目指し，本体工事に着手しました。それに伴い，6月から仮設西口駅前広場の供用を開始しました。

また，区画整理事業の工事進捗に合わせた建物等の移転を計画的に行い，県道や神立停車場線に係るものから順次補償契約による支障物の撤去を進めることで事業の進展を図り，神立駅を中心とした活力とにぎわいのあるまちづくりを推進します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	既存建築物耐震化促進事業					
施策の大綱	2-2 市民の生活と財産を守り、安心・安全な、明るいまちづくり					
施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり					
施策の内容	9 既存建築物等の耐震化の推進					
H28決算額	29,103千円	財源内訳	国県支出金 14,641千円	地方債	その他	一般財源 14,462千円

【事業の概要】

昭和56年の建築基準法改正以前の木造住宅を対象に、既存建築物の耐震化を促進し、地震に強い安全に暮らせるまちづくりを目指すため、耐震診断士派遣による無料診断を実施するとともに耐震改修計画作成費、耐震改修工事費を補助します。

また、耐震改修促進法の改正により、大規模な不特定多数の者が利用する建築物などについて、耐震診断の義務付け及び結果の公表など規制が強化されたことに伴い、耐震改修を実施する建物所有者に対し、工事費等を補助をすることにより、民間の大規模建築物等の耐震化を図ります。

(1) 既存木造住宅耐震化事業

[平成28年度実施状況]

事業名	事業費(実績)	概要
①木造住宅耐震診断事業	486千円 (54千円×9戸)	昭和56年法改正前の木造住宅を対象に茨城県木造住宅耐震診断士を派遣し、耐震診断を行う。
②木造住宅耐震計画作成費補助事業	0千円 (100千円×0戸)	①を実施した住宅のうち、危険度の高い住宅(①における上部構造評点が1.0未満)の耐震改修計画作成費を補助する。
③木造住宅耐震改修工事費補助事業	0千円 (300千円×0戸)	②を作成した住宅のうち、危険度の高い住宅の耐震改修工事費(上部構造評点が0.3以上上昇し、かつ1.0以上となる工事)を補助する。
合計	486千円	

事業名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	合計
①木造住宅耐震診断事業	100件	300件	20件	20件	20件	20件	106件	52件	19件	12件	15件	9件	693件
②木造住宅耐震計画作成費補助事業	—	—	—	—	2件	2件	2件	1件	0件	0件	0件	0件	7件
③木造住宅耐震改修工事費補助事業	—	—	—	—	1件	1件	2件	1件	0件	0件	0件	0件	5件

(2) 大規模建築物耐震化補助事業

[平成28年度実施状況]

事業名	事業費(補助額)	概要
①大規模建築物耐震改修設計費補助事業	6,068千円 (6,068千円×1件)	不特定多数の者が利用する、要緊急安全確認大規模建築物について、耐震改修設計費を補助する。
②大規模建築物耐震改修工事費補助事業	22,549千円 (22,549千円×1件)	不特定多数の者が利用する、要緊急安全確認大規模建築物について、耐震改修工事費を補助する。
合計	28,617千円	



耐震診断の様子



耐震補強(柱)施工例
(鋼板設置)

【事業の成果】

耐震診断については一定数の需要が毎年あることから、市民の住宅に対する安全性の意識向上に寄与しています。

事業を引き続き実施することで、個々の住宅だけではなく、まち全体の地震に対する安全性の向上が期待されます。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	常名虫掛線街路事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H28決算額	177,622千円	財源内訳	国県支出金 80,318千円	地方債 84,400千円	その他	一般財源 12,904千円

【事業の概要】

市道Ⅰ級44号線（旧国道125号）と県道小野土浦線とを結ぶ内環状道路として、整備を進めます。

- ・事業期間 平成22年度～平成29年度
- ・整備延長 L=1,435m
- 幅員 W=16.0m

[平成27年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	4,557	道路修正設計，草刈等
工事請負費	80,085	道路改良工事
合計	84,642	

[平成28年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	1,830	測量
工事請負費	91,150	道路改良工事
合計	92,980	

[平成29年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
役務費	250	補償費再算定
委託料	4,670	測量，道路修正設計
公有財産購入費	390	用地取得費
補償補填及び賠償金	26,000	補償金
工事請負費	190,710	道路改良工事費
合計	222,020	



位置図

【事業の成果】

西並木地区から虫掛地区における円滑な交通動線の確保を図るとともに、常名運動公園へのアクセス道路としての役割を果たします。

また、新たな南北軸としての交通ネットワークが構築されることとなり、新治地区から市街地への観光客誘導を図ります。

款	土木費	項	都市計画費				
事業名	神立停車場線街路事業						
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり						
施策名	2 高質な都市基盤の整備						
施策の内容	2 都市計画道路等の整備						
H28決算額	67,292千円	財源内訳	国県支出金 33,000千円	地方債 29,600千円	その他	一般財源 4,692千円	

【事業の概要】

神立駅西口地区土地区画整理事業に併せて、神立駅から国道6号までの区間を本市とかすみがうら市が整備し、神立駅周辺地区の道路ネットワークを構築するものです。

- ・事業期間 平成23年度～平成31年度
- ・整備延長 L=283m
- 幅員 W=22.0m

[平成28年度分]

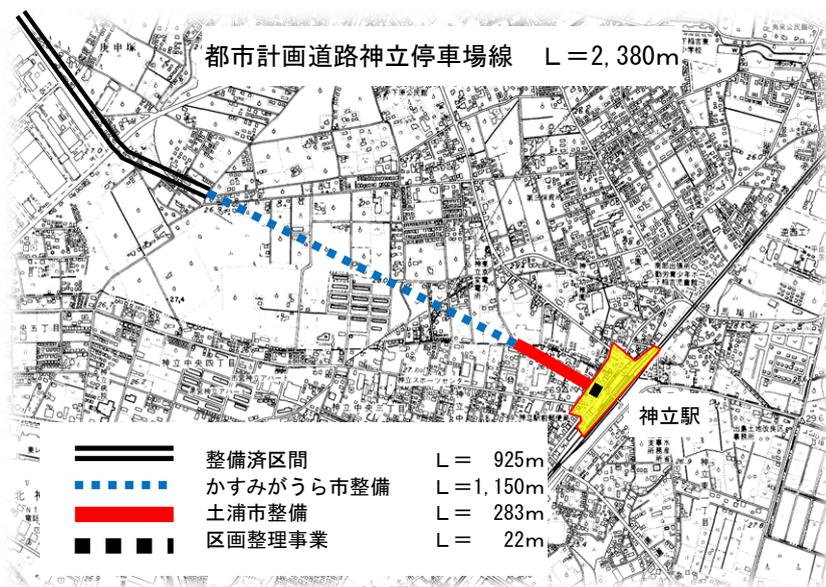
(単位：千円)

区分	事業費	概要
役務費等	520	補償物件再算定等
工事請負費	907	防護柵設置
公有財産購入費	16,291	用地取得費
補償補填及び賠償金	49,574	補償金
合計	67,292	

[平成29年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
役務費等	5,145	補償物件再算定等
工事請負費	2,257	防護柵設置
公有財産購入費	5,709	用地取得費
補償補填及び賠償金	7,426	補償金
合計	20,537	



【事業の成果】

交通アクセスの向上により、市北部地区の交通混雑が緩和されるとともに、調和のとれた魅力的な都市環境を創出します。

また、歩道整備による安全な歩行者空間の確保を図るなど、円滑な交通動線の確保と快適な環境の形成を図ります。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	真鍋神林線延伸道路整備事業《合併特例債事業》					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H28決算額	99,741千円	財源内訳	国県支出金 68,696千円	地方債 25,400千円	その他	一般財源 5,645千円

【事業の概要】

国道125号から県道小野土浦線までの区間を整備し、円滑な交通動線を確保することで、市の広域的な地域間連携の強化を図ります。

- ・事業期間 平成24年度～平成29年度
- ・整備延長 L=1,320m
幅員 W=12.0m

[平成27年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	77,192	道路改良工事
公有財産購入費	13,161	用地取得費
補償補填及び賠償金	6,906	補償金
合計	97,259	

[平成28年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
需用費等	1,629	公用車燃料, 図書, 消耗品等
役務費等	853	不動産鑑定, 補償物件再算定
合計	2,482	

[平成29年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	498	道路台帳修正, 交通量調査等
工事請負費	3,782	交通安全施設設置工事等
合計	4,280	



位置図



供用開始区間

【事業の成果】

中心市街地の交通渋滞が緩和され、交通アクセスが向上することはもとより、歩道整備による安全な歩行者空間の確保が図られるなど、円滑で快適な交通体系の構築に寄与します。

また、本路線には新消防庁舎が隣接することから、緊急車両の到達時間短縮が期待できるほか、市営斎場へのアクセスも向上します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	田村沖宿線延伸道路整備事業<<合併特例債事業>>					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H28決算額	284,887千円	財源内訳	国県支出金 113,743千円	地方債 151,200千円	その他	一般財源 19,944千円

【事業の概要】

国道354号おおつ野団地入口交差点から神立駅東地区方面の区間を整備することで、近隣の学校へ通学する児童・生徒の安全な歩行者・自転車空間が確保されます。

- ・事業期間 平成24年度～平成30年度
- ・整備延長 L=2,900m
幅員 W=14.0m

[平成27年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	48,090	道路改良工事
公有財産購入費	47,743	用地取得費
補償補填及び賠償金	8,489	補償金
合計	104,322	

[平成28年度分]

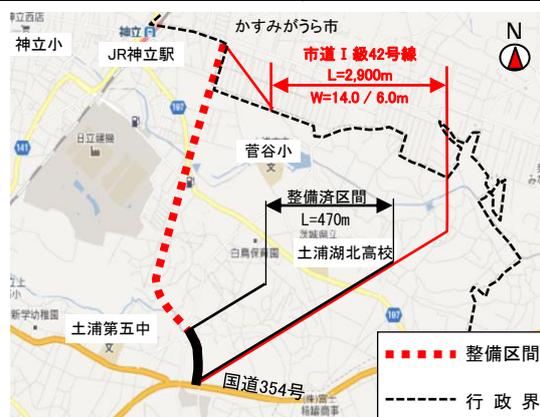
(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料等	5,593	交差点設計委託料等
工事請負費	106,630	道路改良工事
公有財産購入費	13,172	用地取得費
補償補填及び賠償金	55,170	補償金
合計	180,565	

[平成29年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	344,353	道路改良工事
補償補填及び賠償金等	35,166	用地取得費, 補償金
合計	379,519	



位置図



整備状況写真

【事業の成果】

神立駅東地区及び隣接するかすみがうら市と、おおつ野団地内の円滑な交通体系の構築に寄与するとともに、総合病院へのアクセス向上が期待できます。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	荒川沖木田余線（I期）整備事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H28決算額	30,693千円	財源内訳	国県支出金 13,970千円	地方債 9,700千円	その他	一般財源 7,023千円

【事業の概要】

都市計画道路真鍋神林線から国道354号までの3車線区間（I期：L=1,300m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞の緩和を図るとともに、市の広域的な地域間連携を図ります。

- ・事業期間 平成26年度～平成32年度（I期）
- ・整備延長 L=1,300m
- 幅員 W=25.0m

[平成27年度からの繰越分] (単位：千円)

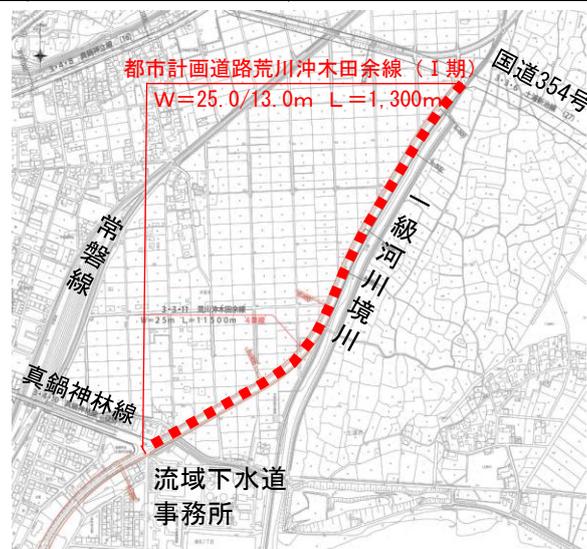
区分	事業費	概要
委託料	19,473	用地測量、詳細設計

[平成28年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
需要費	96	消耗品
役務費	5,724	不動産鑑定、補償物件算定
委託料	5,400	用地測量
合計	11,220	

[平成29年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
役務費	13,500	不動産鑑定、補償費算定
公有財産購入費	62,726	用地取得費
補償補填及び賠償金	15,000	補償金
合計	91,226	



位置図

【事業の成果】

当該区間の4車線化により道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が期待されるとともに、通過交通の排除により市街地における交通渋滞の緩和及び安全性の向上を図ります。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	川口田中線街路事業（Ⅲ期）					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	2 高質な都市基盤の整備					
施策の内容	2 都市計画道路等の整備					
H28決算額	57,025千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源
				43,700千円		13,325千円

【事業の概要】

本路線は、中心市街地の骨格となる市街地環状道路と位置付けられており、市街地東西を結ぶ延長2,500mの道路として都市計画決定され、本年度、市道Ⅱ級41号線（旧国道354号）から土浦警察署西側交差点（立田町）までの区間を整備し、全線開通となりました。

- ・事業期間 平成21年度～平成28年度（Ⅲ期）
- ・整備延長 L=469m
- 幅員 W=16.0m

[平成27年度からの繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	1,285	道路台帳修正等
工事請負費	53,720	交差点改良工事等
合計	55,005	

[平成28年度分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
委託料	2,020	整備効果調査

[平成29年度への繰越分]

(単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	6,210	安全施設工事



位置図



供用開始区間

【事業の成果】

Ⅲ期事業区間の延長469mについては、平成28年3月に供用開始しました。供用開始後半年で、5,000台以上(昼間12時間当たり)が利用しており、その後も増加傾向です。一方、周辺の既存路線については、最大で1,000台以上の交通量の減少が見られ、周辺交通の混雑緩和が確認されました。また、この開通により、土浦警察署西交差点から川口跨線橋交差点までの移動時間が10分から6分程度に短縮されるなど、交通の流れを改善することができました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	まちなか定住促進支援事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施策の内容	3 まちなか居住の促進					
H28決算額	24,085千円	財源内訳	国県支出金 12,042千円	地方債	その他	一般財源 12,043千円

【事業の概要】

土浦市中心市街地活性化基本計画に基づき、質の高いコンパクトなまちづくりを推進するため、中心市街地の定住促進を図る新たな支援制度により、居住人口増加による活力とにぎわいある中心市街地の再生を図ります。

- (1) 実施期間：平成26年度～30年度
(平成26年10月1日開始)
- (2) 実施エリア：計画において定めた中心市街地内
- (3) 事業内容：

①まちなか賃貸住宅家賃補助

土浦市外から中心市街地に住み替える世帯のうち、新婚世帯または子育て世帯に対して、家賃の1/2（上限2万円）を補助しました。

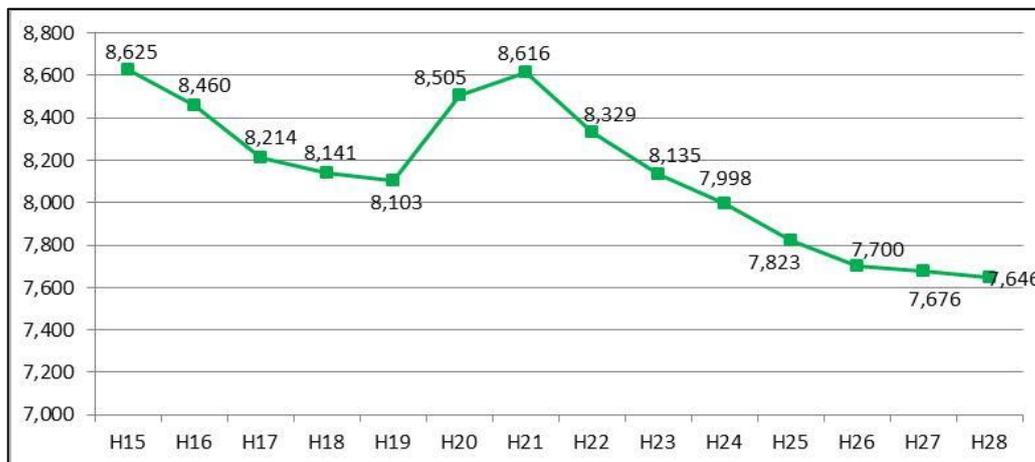
②まちなか住宅建替え・購入補助

中心市街地エリア内の住宅建替えまたは住宅を購入する者に対して、借入金の3%（上限50万円）を補助しました。

(単位：千円)

区分	事業費	概要
①賃貸住宅家賃補助	6,735	交付決定：35件
②住宅建替え・購入補助	17,350	交付決定：36件
合計	24,085	

(単位：人)



中心市街地人口の推移

【事業の成果】

平成28年度は、賃貸住宅家賃補助について、新規で17件の申請があり、継続と合わせて35件の申請を受け付けました。建替え購入補助については、前年度は20件でしたが、平成28年度は36件の申請がありました。

事業開始から3年目となり、事業の周知と中心市街地への居住の促進・定住が図られました。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	土浦港周辺広域交流拠点整備事業					
施策の大綱	2-1 将来を展望した広域的な都市づくりを推進し、快適でゆとりのあるまちづくり					
施策名	3 うるおいのある河川・公園の整備					
施策の内容	2 公園・緑地の整備					
H28決算額	247千円	財源内訳	国県支出金	地方債	その他	一般財源 247千円

【事業の概要】

本事業は、「土浦市中心市街地活性化基本計画」及び「土浦市かわまちづくり計画」の中で拠点地区として位置付けている川口二丁目地区において、公共と民間の連携により、水辺空間として市民に広く開放するとともに、観光客の訪れる魅力ある空間となる拠点を整備し、水辺のにぎわいを創出します。

[平成28年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
土浦港周辺広域交流拠点基本計画策定委員会に係る費用	247	委員への報償費，飲物代

[平成29年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
土浦港周辺広域交流拠点基本計画策定業務委託	6,675	外部委員会での検討・調査結果を踏まえた素案の作成等



整備地区全体



市先行整備予定地区
(1.2ha)

【事業の成果】

地区全体の整備に関する基本計画について策定を進め、交流拠点整備の事業化の推進が図られました。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

事業名	土浦駅北通り線整備事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施策の内容	1 土浦駅前北地区の整備					
H28決算額	35,869千円	財源内訳	国県支出金 8,415千円	地方債 21,700千円	その他 446千円	一般財源 5,308千円

【事業の概要】

土浦駅北通り線のうち、土浦駅前北地区市街地再開発事業で整備する区域から北側80mの区域について、再開発事業と併せて拡幅整備をすることで、歩行者動線を確保しながら車両と歩行者の通行を分離し、駅や周辺地区への回遊動線の形成とにぎわいの連続性を生み出します。

- ・事業期間 平成18年度～平成29年度
- ・事業内容 道路拡幅整備（9.5m→14m, 両側歩道2.5m） L=80m, W=14.0m
電線共同溝 管路（φ30mm～φ200mm, L=124m）

[平成27年度からの繰越分] (単位：千円)

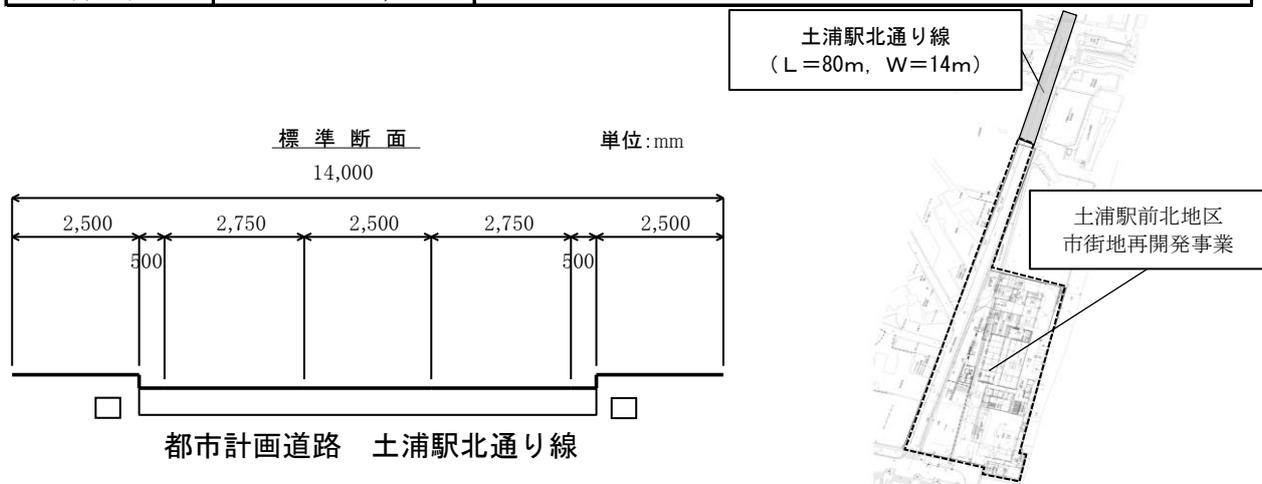
区分	事業費	概要
工事請負費	19,096	土浦駅北通り線整備工事
合計	19,096	

[平成28年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	12,750	土浦駅北通り線整備工事
委託料	3,948	電線地中化工事委託料
事務費等	75	旅費, 役務費, 使用料及び賃借料
合計	16,773	

[平成29年度への繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	26,201	土浦駅北通り線整備工事
補償費	4,629	支障物件移設補償（地下埋設物移設補償）
委託料	1,278	電線地中化工事委託料
合計	32,108	



【事業の成果】

平成28年度には、電線地中化工事委託及び土浦駅北通り線整備工事を実施し、平成29年度完成に向けた進捗が図られました。

また、今後の道路拡幅整備に伴い、両側に歩道が整備され電線地中化が図られることから、来街者の回遊性や安全性、利便性の向上に加えて、駅前にふさわしい街並み景観の向上にも寄与します。

款	土木費	項	都市計画費			
事業名	土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業					
施策の大綱	2-3 産業の振興を図り、活力とにぎわいのあるまちづくり					
施策名	1 県南地域の拠点として中心市街地の整備					
施策の内容	1 土浦駅前北地区の整備					
H28決算額	528,446千円	財源内訳	国県支出金 254,910千円	地方債 256,200千円	その他	一般財源 17,336千円

【事業の概要】

新図書館等の公共施設が入る再開発ビルと市本庁舎及び土浦駅との連絡を強化するため、既存のペDESTロリアンデッキとの連結整備を行うことにより、駅や周辺地区への回遊動線の形成とにぎわいの連続性を生みだします。

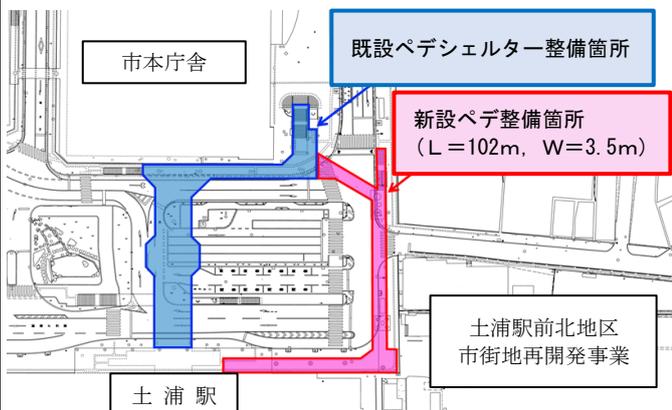
- ・事業期間 平成18年度～平成28年度
- ・事業内容 既設ペDESTロリアンデッキ L=110m, W=4m～10m
新設ペDESTロリアンデッキ L=102m, W=3.5m

[平成27年度からの繰越分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	401,533	土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備工事
合計	401,533	

[平成28年度分] (単位：千円)

区分	事業費	概要
工事請負費	126,870	土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備工事
事務費等	43	旅費, 需用費, 使用料及び賃借料
合計	126,913	



土浦駅西口ペDESTロリアンデッキ整備事業



完成したペDESTロリアンデッキ

【事業の成果】

平成28年度には、新設ペDESTロリアンデッキが完成したことにより整備事業が全て完了しました。

これにより、駅前周辺が歩行者デッキで結ばれたことで、歩車道の分離が図られたことから、市民生活の利便性や快適な回遊性に加えて、駅前広場を利用する車両や歩行者の安全性が向上し、にぎわい空間の創出にも寄与します。